

資料提供

平成 26 年 12 月 2 日
課名 農業産地推進課
担当 大浜, 森島
電話 082-513-3591
内線 3591

広島県産キャベツの大手食品会社への供給開始について

1 概要

広島県が重点的に生産拡大を図っているキャベツについて、株式会社サラダクラブ三原工場（パッケージサラダ製造）への供給を、12月8日の稼働開始に合わせ、JA全農ひろしまが開始する。

本県のキャベツの生産量は、生産者の高齢化などにより減少し、現在、年間約3千tで、県内消費の約1割に留まっている。このため、県は、集落法人を中心とした栽培の推進と、大口の実需者に安定供給できる体制の確立に向けて取り組んでいる。

パッケージサラダの市場規模は約1千億円と言われ、今後も伸びが期待されているため、引き続きカット野菜工場など業務用の販売先に向け、キャベツの生産拡大を図り、平成32年度には県内需要の過半に当たる2万t以上に拡大することとしている。

主要供給先である三原工場は、県営三原西部工業団地（惣定地区）内に建設されており、キャベツの出荷については、今年度は試行的に行う予定で、来年度以降、本格的に実施し、3年後の平成29年度には年間を通じて1日当たり5tを供給できる体制を目指す。

2 広島県におけるキャベツの生産振興に向けた取組

(1) 取組のポイント

遊休農地等を活用した大規模団地を整備し、核となる法人経営体を中心に生産者が連携して計画生産・計画出荷できる産地を育成している。

また、温暖な南部地域から冷涼な北部地域にわたる県内全域に産地を形成し、地域間調整による周年供給体制の構築を目指している。

(2) 取組の具体例

- ・ 県南部地域の生産量が高齢化によって減少する中、県は、平成17年度から中北部地域の集落法人を中心に栽培を推進し、JA全農ひろしまが集荷・販売を担う取組を開始。
- ・ 生産者の規模拡大のリスク軽減を図るため、県は平成24年度から再生産費用助成事業による支援を導入して拡大を加速化。平成26年度は140haに面積が拡大する見込み（平成17年度は62ha）。
- ・ 平成26年度から周年供給体制構築助成事業により、出荷量の少ない夏作や冬作に取り組む生産者に助成。平成27年度には夏作を増産する見込み。

(3) 今後の取組

- ・ 周年安定供給に向けた栽培技術の向上
- ・ 生産者間の連携強化に向けた作業受委託等の促進

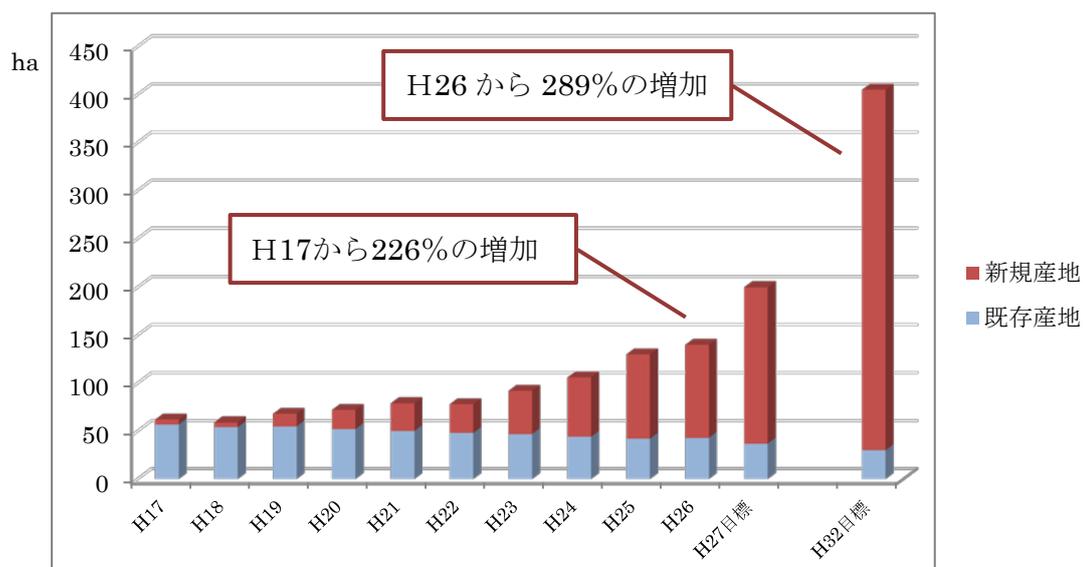
【大口の実需者向け 300kg 鉄コンテナ収穫】



【大規模団地整備に向けた実証栽培】



【キャベツ栽培面積の推移と計画】



<参考>

1 株式会社サラダクラブ 三原工場について

- ◆ 所在地 三原市沼田西町惣定 247-120 (TEL 0848-60-6115)
(県営三原西部工業団地(惣定地区)内)
- ◆ 規模 敷地面積 9,782 m², 建設面積 2,322 m², 延床面積 2,876 m²
- ◆ 従業員数 50 名 (スタート時)
- ◆ 生産能力 1 日当たり約 3 万パック
- ◆ 売上見込 10 億円 (平成 27 年度)
- ◆ 問合せ先 (株)サラダクラブ商品部 藤田将・阿部学 (TEL 03-5384-7690)

2 株式会社サラダクラブについて

- ◆ 本社 東京都調布市仙川町 2-5-7 仙川キューポート
- ◆ 工場 五霞 (茨城県), 中河原 (東京都), 伊丹 (兵庫県), 真庭 (岡山県), 鳥栖 (佐賀県), 三原 (広島県, 平成 26 年 12 月 8 日稼働開始)
- ◆ 設立 1999 年 2 月 24 日
- ◆ 資本金 3 億円 (キューピー株式会社 51%, 三菱商事株式会社 49% 出資)
- ◆ 従業員数 878 名 (2013 年 12 月現在)
- ◆ 事業内容 パッケージサラダの製造販売
マヨネーズ, ドレッシング, ソースその他調味料の販売
- ◆ 売上高 206 億円 (2013 年度)
- ◆ 商品となる主な野菜
キャベツ, レタス, 大根, 人参, 玉ねぎ, 白ネギ, 青ネギ, パプリカ,
ラディッシュ, かぼちゃ, トレビス, 水菜
- ◆ 主な商品

